

安城市・西部地域の移動に関するアンケート調査結果のご報告

はじめに

令和5年12月に実施しました「安城市・西部地域の移動に関するアンケート調査」では、多くの住民のみなさまにご回答（世帯回収率 34.2%（回答：1,408 世帯 / 配布：4,102 世帯配布））をいただき、誠にありがとうございました。

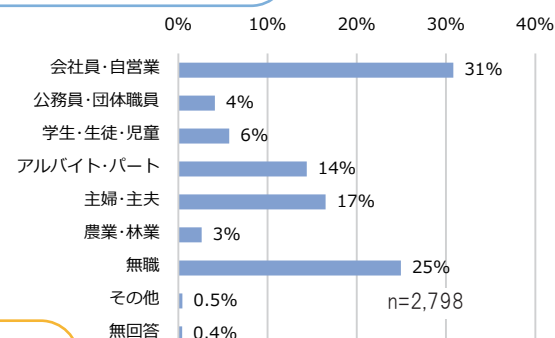
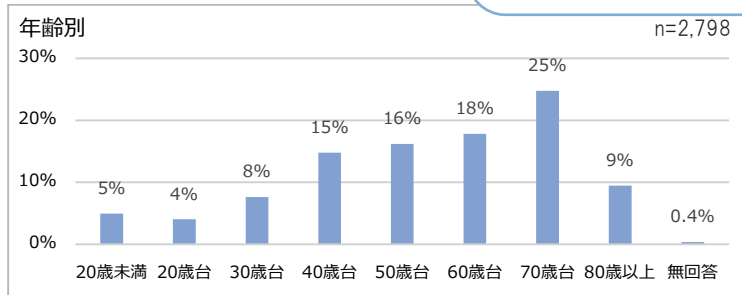
アンケート結果は、あんくるバス高棚線の改善やその他の移動手段の導入などについて、今後、西部地域にお住まいの皆様と一緒に検討していくための貴重な基礎資料として活用させていただきます。

高棚町内会・榎前町内会・福釜町内会・箕輪町内会・下管池町内会
安城市・名古屋大学

回答者属性（年齢・職業）

年齢別では70歳代が25%を占め最も多い。

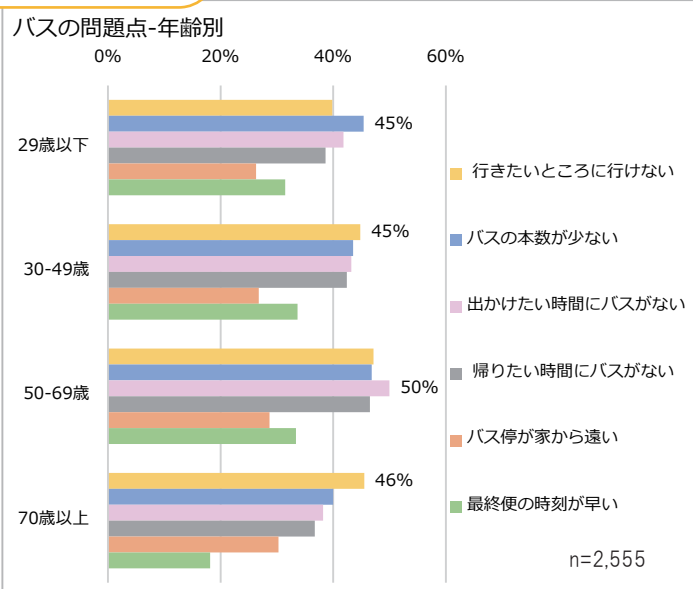
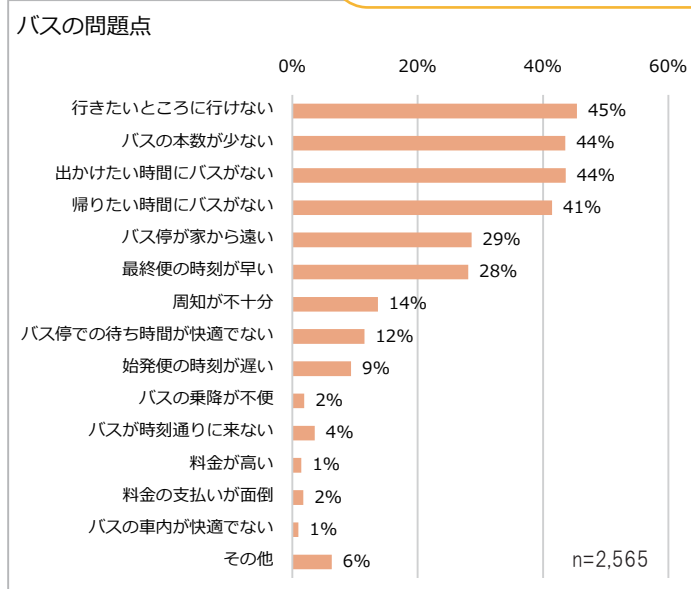
「会社員・自営業」が最も多く、「無職」がこれに次いでいる。



高棚線の問題点

69歳以下は、本数や時刻表に対する不満が高い。

70歳以上は行先やルートの問題視している。



高棚線の改善点

どの年代も、「バス本数を増やす」、「ルートと行先の見直し」への要望が高い。

特に、70歳以上は、「バス停を増やす」ことを望んでいる。

